

**【校訓】 自律 和 敬**

**教育目標**

豊かな人間性を備え、創造力に富む徳性の高い人材を育て、生徒一人ひとりの能力を伸ばし、生徒が自己実現できるような学校づくりを目指す。

- 1) 「自律・和敬」の精神を重んじ、個性と創造性豊かな人間を育てる。
- 2) 意欲的に学習する習慣を養い、知性と教養の豊かな人間を育てる。
- 3) 自己の言動に責任を持ち、他を思いやり協力する心の豊かな人間を育てる。
- 4) 心と体の健康を増進し、たくましく生き抜く実践力豊かな人間を育てる。

<p><b>「考察力」の獲得</b></p> <p>豊かな実践で、 主体的に深く学ぶ力を育む</p>	<p><b>「実現力」の獲得</b></p> <p>創造的な学びで、 将来の希望を実現する力を育む</p>	<p><b>「前進力」の獲得</b></p> <p>心に響くコミュニケーションで、 しっかりと踏み出す力を育む</p>
--	---	---

<p><b>理想とする生徒像</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 学びの過程で将来との関連性見いだすことのできる生徒</li> <li>☆ 学びに対する興味関心の高い生徒</li> <li>☆ 高い自己有用感を有し、有益な人間関係を形成できる生徒</li> </ul>	<p><b>保護者・地域の思い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 地域社会へ積極的に貢献してほしい</li> <li>☆ 自らの将来を真摯に考え、その希望する進路を達成してほしい</li> <li>☆ 自らの価値を見だし、高い自己有用感を持ってほしい</li> </ul>
---	--

**【志教育の目標】 実現力の獲得をとおして、未来を切り拓く人材の育成**

**重点指導事項**

<p><b>人と「かかわる」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆ コミュニケーションを通して自ら深く探求する力の育成</li> <li>☆ 対話的なアシストでチームワークのとれた活動の充実</li> </ul>	<p><b>よりよい生き方を「もとめる」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 見通しをもって選び、主体的に自己実現する力の育成</li> <li>☆ 学習と将来の可能性を、関連付け総合化する力の育成</li> <li>☆ 自ら考えしっかり身に付ける力の育成</li> </ul>	<p><b>社会での役割を「はたす」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 自己理解を深め、社会や集団における自己の役割を自覚し、個性を生かす力の育成</li> </ul>
--	--	--

<p><b>アクティブラーニングの実現</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 生徒の主体的に活動する場面を計画的に組み立て、探究的活動を通して高い課題解決能力の習得を図る</li> <li>✓ 自ら考えしっかり身につける力の育成を目指し、豊富な学習ガイダンス機能によるカリキュラムの効果的運用を図る</li> </ul>	<p><b>主体的学習態度の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 自分と学問や社会とのつながりを自覚し、主体的に学習する力を育む</li> <li>✓ 質の高い日々の学びを通して、自己の未来を主体的に築く力を育む</li> <li>✓ 体系的な学習活動を通して、活用できる学力の蓄積を育む</li> </ul>	<p><b>自己理解の深化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 自己理解を深め、自己の望ましい在り方を主体的に考察する道德教育を基盤とした活動を推進する</li> <li>✓ キャリアカウンセリングを軸に、一人ひとりに対応した相談体制を構築する</li> </ul>
--	--	--

<p><b>各教育活動における取組の観点</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">各教科</td> <td>日々の学習活動において、生徒の探究的な活動場面を設定することで、主体的で計画的な学習姿勢を育み、高い課題解決能力の獲得を促すとともに、質の高い日々の学びを通して、自らが実現を目指す未来とを総合する力を育む。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">道徳</td> <td>自分自身が他の人と代わることでできない唯一無二の存在として、自らを肯定的に捉えられるように促す。 他と協調しつつ、自立した主体として活動できるよう促す。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">特別活動</td> <td>部活動への積極的な参加を促すことで、各部活動の集団活動において、各々の役割を自覚した行動ができるよう育成するとともに、様々な体験を通して人間的な成長を促す。</td> </tr> </table>	各教科	日々の学習活動において、生徒の探究的な活動場面を設定することで、主体的で計画的な学習姿勢を育み、高い課題解決能力の獲得を促すとともに、質の高い日々の学びを通して、自らが実現を目指す未来とを総合する力を育む。	道徳	自分自身が他の人と代わることでできない唯一無二の存在として、自らを肯定的に捉えられるように促す。 他と協調しつつ、自立した主体として活動できるよう促す。	特別活動	部活動への積極的な参加を促すことで、各部活動の集団活動において、各々の役割を自覚した行動ができるよう育成するとともに、様々な体験を通して人間的な成長を促す。	<p><b>各学年の取組内容</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">総合的な学習の時間</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">一</td> <td><b>自分と出会う</b> 学問研究、オータムセミナー、向陵リサーチなどの活動を通じて、「自分」とは何かを学問や社会との関わりの中で考察する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">二</td> <td><b>学問と出会う</b> アカデミックインターンシップや志望理由書の作成などの活動を通じて、大学における学問とは何か、そこで何を学ぶのかについて考察する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">三</td> <td><b>社会と出会う自分を広げる</b> サクセスタイムなどの活動を通じて、将来、自分が社会人としてどのように社会に貢献していくかを考察する。</td> </tr> </table>	総合的な学習の時間	一	<b>自分と出会う</b> 学問研究、オータムセミナー、向陵リサーチなどの活動を通じて、「自分」とは何かを学問や社会との関わりの中で考察する。		二	<b>学問と出会う</b> アカデミックインターンシップや志望理由書の作成などの活動を通じて、大学における学問とは何か、そこで何を学ぶのかについて考察する。		三	<b>社会と出会う自分を広げる</b> サクセスタイムなどの活動を通じて、将来、自分が社会人としてどのように社会に貢献していくかを考察する。
各教科	日々の学習活動において、生徒の探究的な活動場面を設定することで、主体的で計画的な学習姿勢を育み、高い課題解決能力の獲得を促すとともに、質の高い日々の学びを通して、自らが実現を目指す未来とを総合する力を育む。															
道徳	自分自身が他の人と代わることでできない唯一無二の存在として、自らを肯定的に捉えられるように促す。 他と協調しつつ、自立した主体として活動できるよう促す。															
特別活動	部活動への積極的な参加を促すことで、各部活動の集団活動において、各々の役割を自覚した行動ができるよう育成するとともに、様々な体験を通して人間的な成長を促す。															
総合的な学習の時間	一	<b>自分と出会う</b> 学問研究、オータムセミナー、向陵リサーチなどの活動を通じて、「自分」とは何かを学問や社会との関わりの中で考察する。														
	二	<b>学問と出会う</b> アカデミックインターンシップや志望理由書の作成などの活動を通じて、大学における学問とは何か、そこで何を学ぶのかについて考察する。														
	三	<b>社会と出会う自分を広げる</b> サクセスタイムなどの活動を通じて、将来、自分が社会人としてどのように社会に貢献していくかを考察する。														

<p><b>家庭との連携</b></p> <p>広報活動や学校行事・学校公開などを通して、学校の教育活動を理解してもらうとともに、保護者の職業観や勤労観、人生観などについて協力を得て、教育活動に還元する。</p>	<p><b>地域・企業との協働</b></p> <p>1年次の向陵リサーチや2年次のアカデミックインターンシップ、3年次のサクセスタイムなど各教育活動において、積極的に企業・地域産業や大学との連携を図る。</p>
--	--